2026年３月期
第2四半期（中間期）
決算説明会用資料

2025年11月26日

レオン自動機株式会社
RHEON AUTOMATIC MACHINERY CO., LTD.
証券コード（ 6272 ）

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 目　次

1.　2026年3月期 上期連結決算概況

2.　2026年3月期 通期連結業績予想

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 目　次

1.　2026年3月期 上期連結決算概況

2.　2026年3月期 通期連結業績予想

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

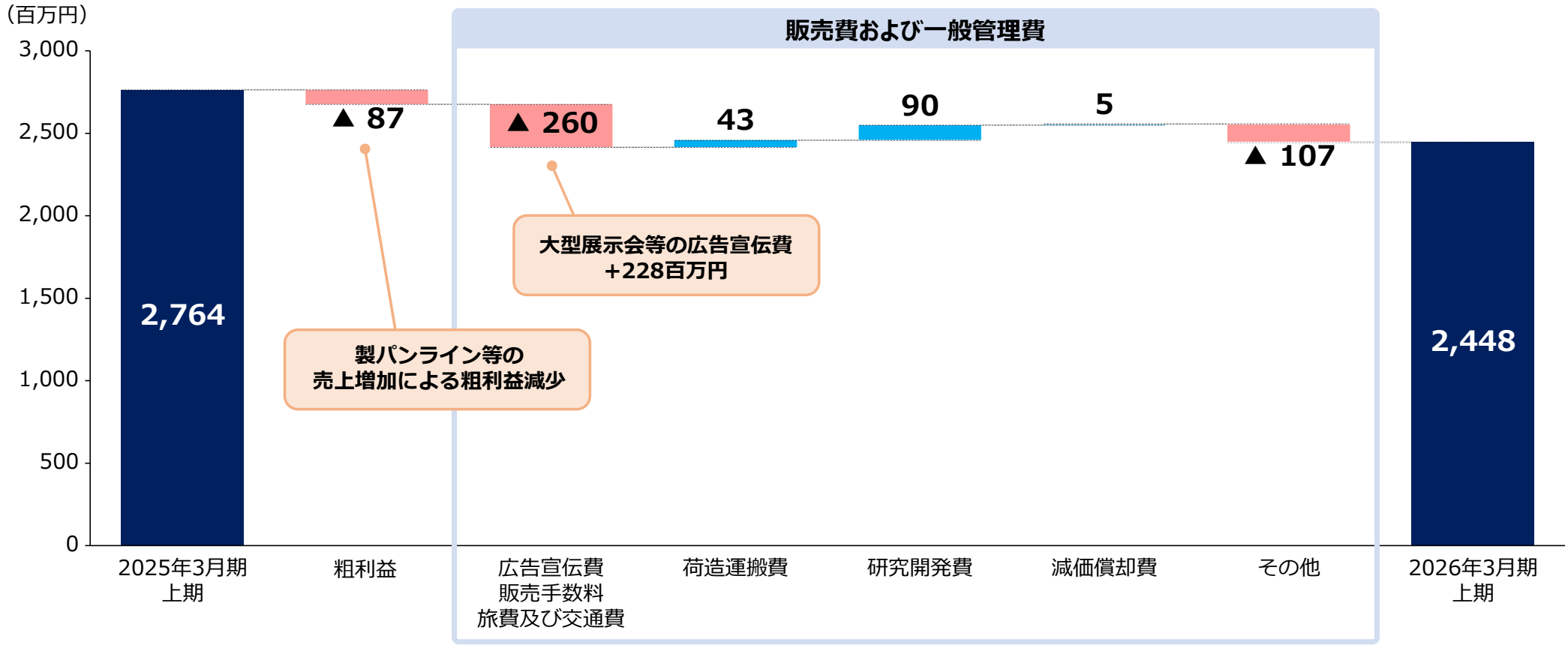
◆ 連結計算書サマリー（上期）

（百万円）	2025年3月期 上期実績	2026年3月期 上期計画 （2025年5月14日）	2026年3月期 上期実績	前年同期比 増減額	増減率 （%）
売上高	19,693	19,550	19,937	244	1.2 %
営業利益	2,764	2,460	2,448	▲316	▲11.4 %
経常利益	2,727	2,380	2,556	▲171	▲6.3 %
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,889	1,700	1,710	▲179	▲9.5 %
1株当たり中間純利益	70.38 円	63.26 円	63.55 円	▲6.83 円	–
中間配当	21.00 円	24.00 円	27.00 円	6.00 円	–
期中平均為替レート	USドル＝152.63 円 ユーロ＝ 165.95 円	USドル＝140.00 円 ユーロ＝ 158.00 円	USドル＝146.04 円 ユーロ＝ 168.06 円	–	–

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

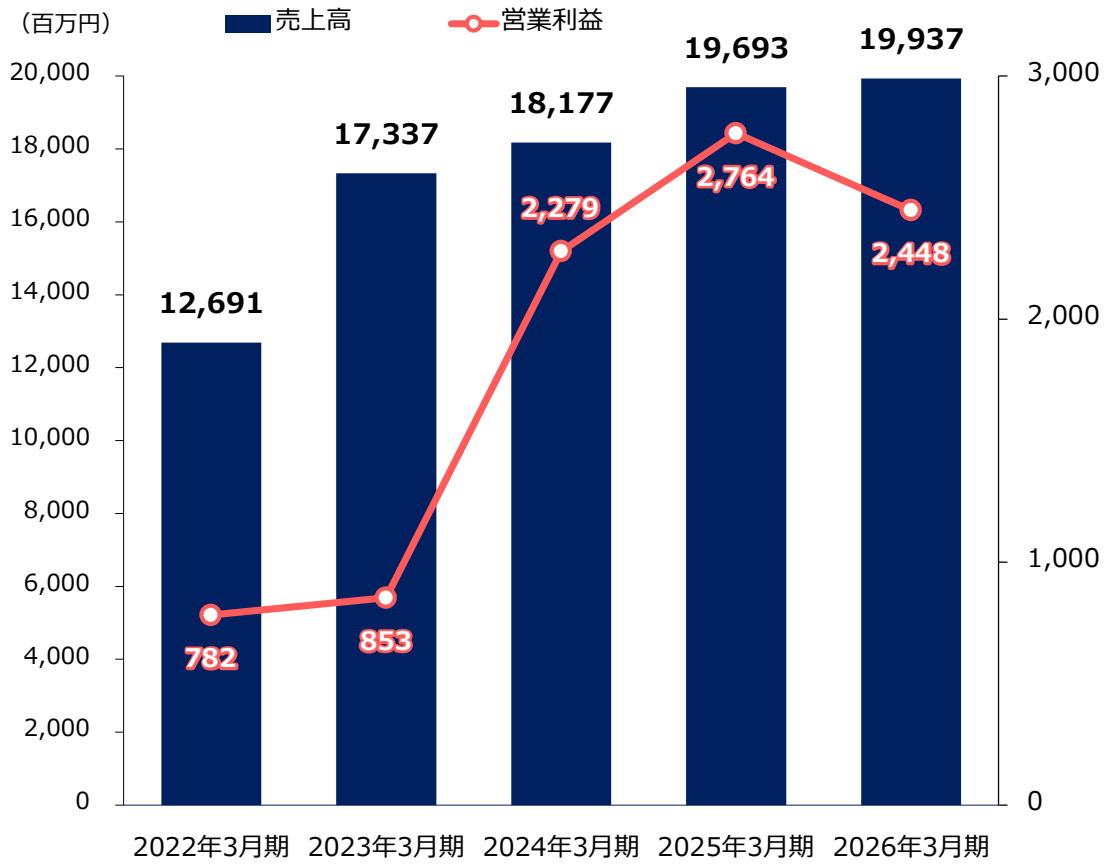
◆ 営業利益増減（上期）

- 大型製パンライン等の受注が継続し売上は増加したが、粗利益は減少。
- 営業利益への為替影響額は▲38百万円。



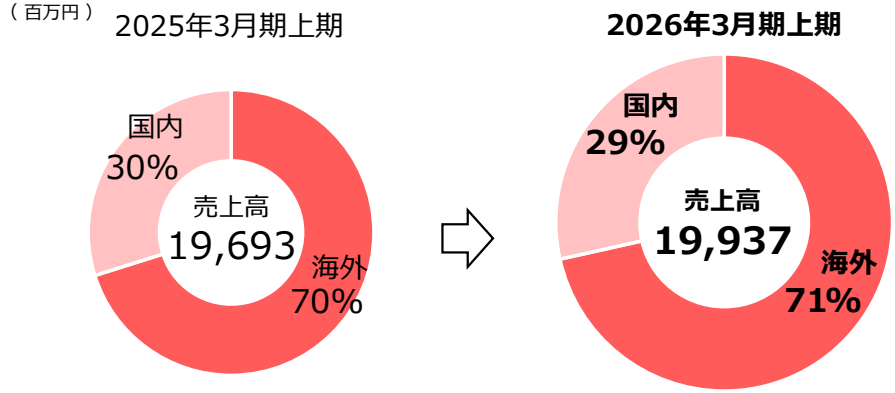
© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 過去５年の業績推移（上期）

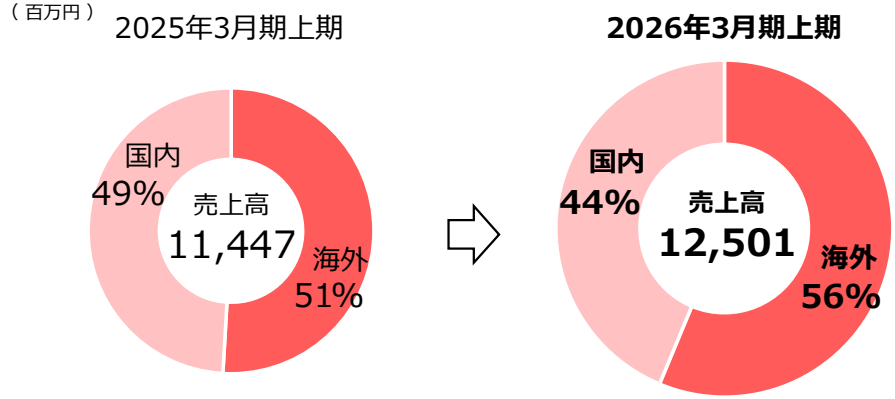


	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	2024年3月期 上期	2025年3月期 上期	2026年3月期 上期
USドル	109.80 円	133.97 円	140.99 円	152.63 円	146.04 円
ユーロ	130.90 円	138.73 円	153.38 円	165.95 円	168.06 円

連結国内外売上高比率



食品加工機械製造販売事業　国内外売上高比率



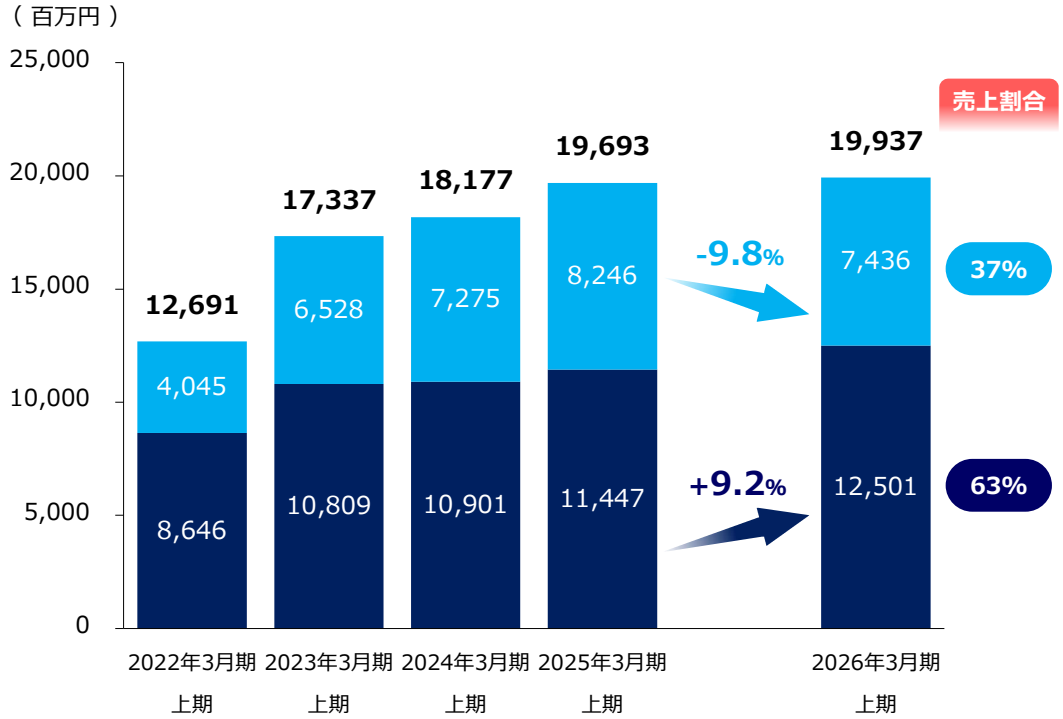
© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業・食品製造販売事業　《 事業別売上高・セグメント利益 》（上期）

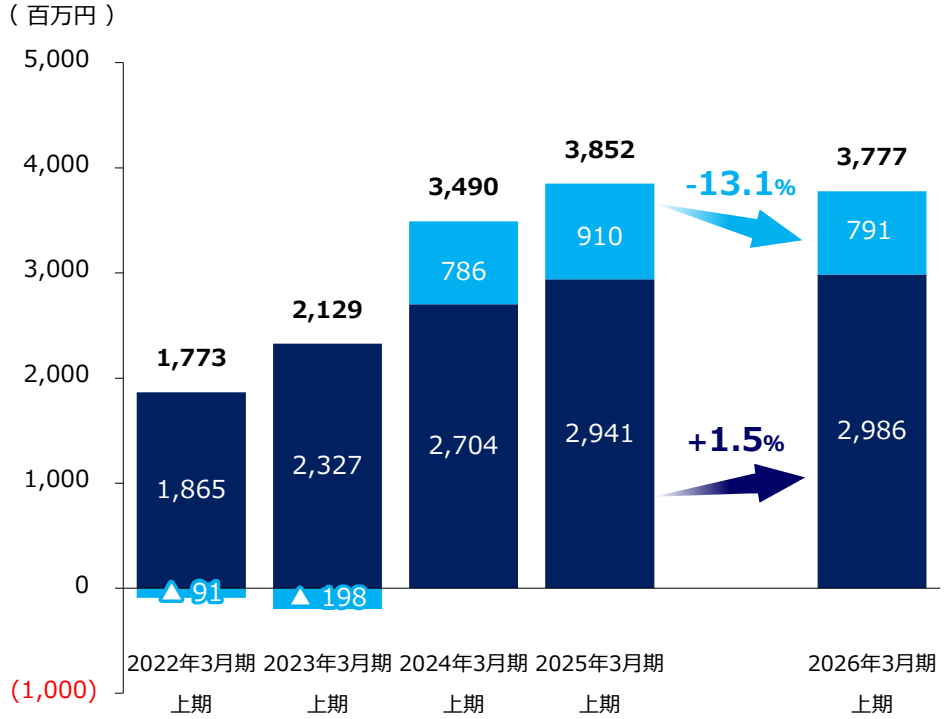
食品加工機械製造販売事業	米国・アジア市場の販売は好調に推移したが、日本・欧州の販売は前期を下回った。
食 品 製 造 販 売 事 業	米国において、一部顧客への販売が終了した影響等により減収。

■ 食品加工機械製造販売事業　■ 食品製造販売事業

売上高

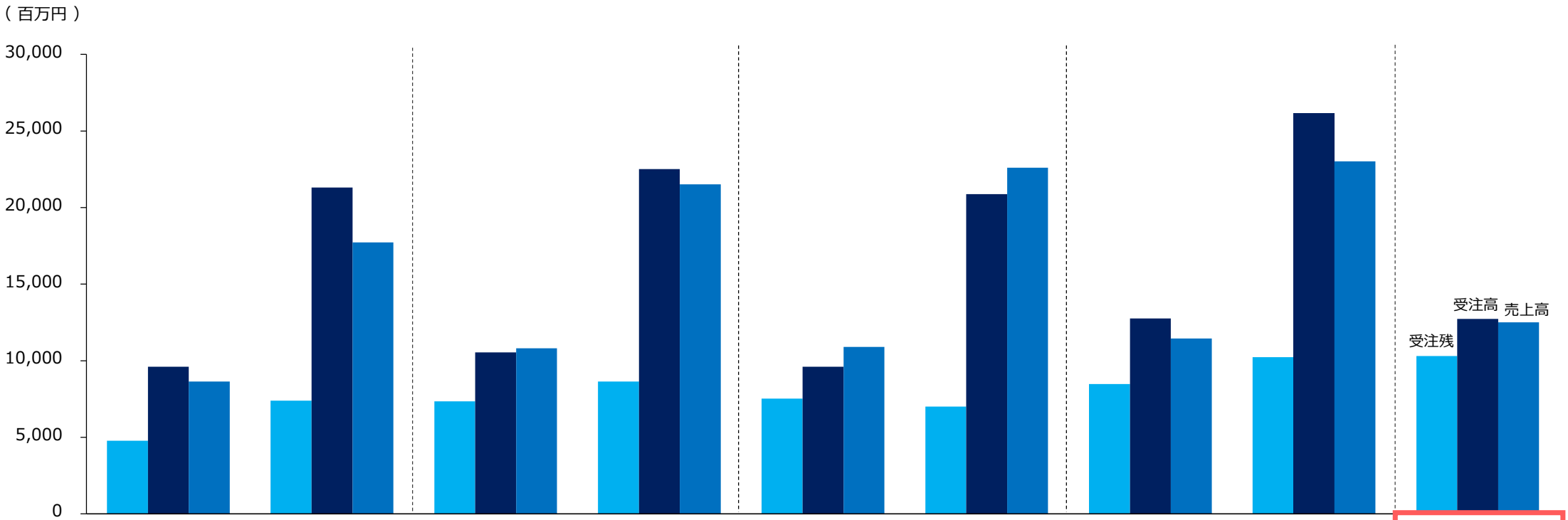


セグメント利益



© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　受注残・受注高・売上高の推移



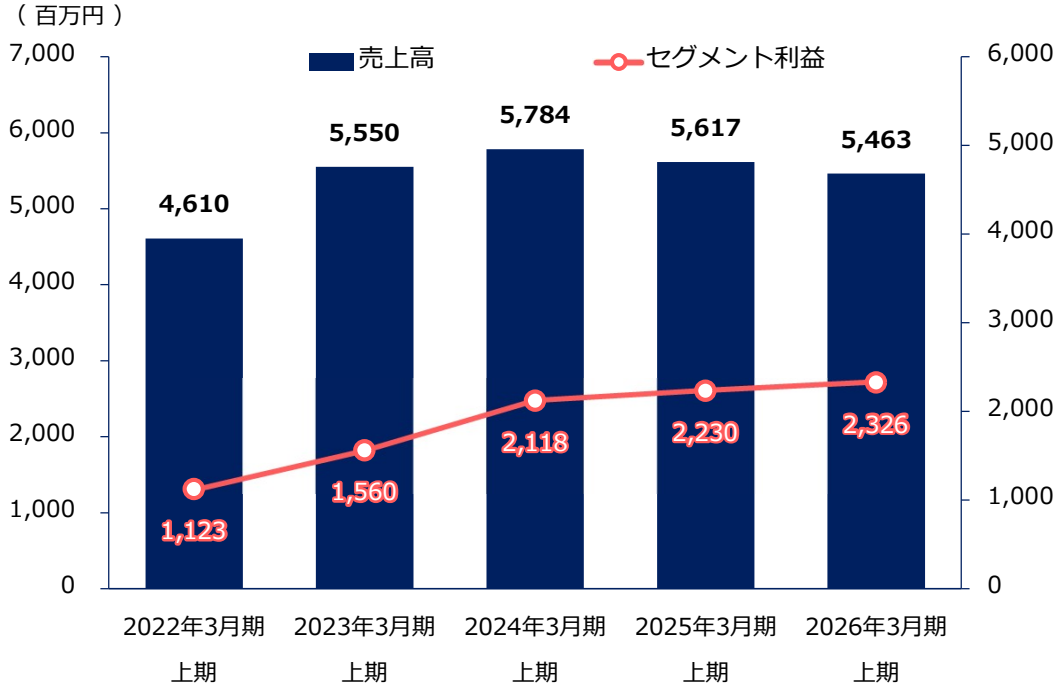
	2022年3月期 上期	2022年3月期	2023年3月期 上期	2023年3月期	2024年3月期 上期	2024年3月期	2025年3月期 上期	2025年3月期	2026年3月期 上期
受注残	4,771	7,393	7,345	8,638	7,532	7,012	8,470	10,235	10,299
受注高	9,601	21,309	10,541	22,523	9,604	20,886	12,760	26,152	12,725
売上高	8,646	17,728	10,809	21,523	10,901	22,608	11,447	23,028	12,501

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　日本《 過去５年（上期）　売上高・セグメント利益 》

- 大型製パンライン等の好調な受注が継続し、食品成形機の売上減少をカバーして1Qの減収幅を縮小した。
- 下期納入案件は上期比で増加する予定であり、通期計画を達成する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年同期増減率	+20.4 %	+4.2 %	-2.9 %	-2.7 %

主な増減要因

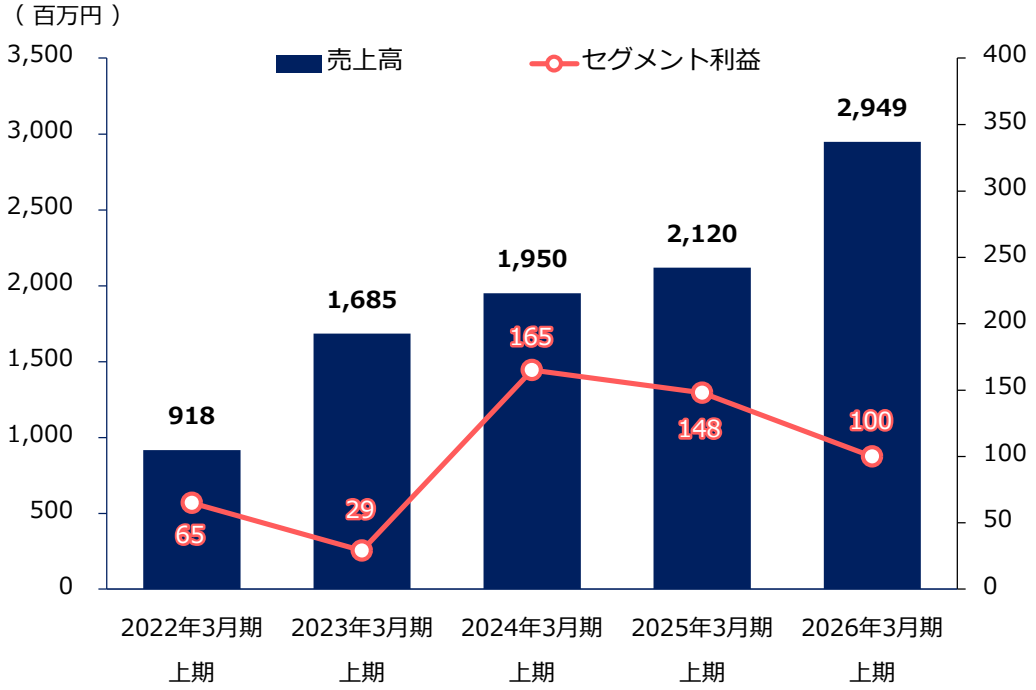
- 自動化ラインは、流通関連ベーカリーからの受注が減少
- 単体機はコンビニ、調理関連業界からの投資は堅調だが、和菓子向けの販売が伸びず売上高は減少
- 修理その他の部品販売は好調

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　北米・南米《 過去５年（上期）　売上高・セグメント利益 》

- 製パンライン等においては、アルチザンブレッドやコンチャの生産ライン販売が引き続き好調で売上が増加。
- 製パンライン等の今期案件は確保できており、来期受注も順調に推移している。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年同期増減率	+83.5 %	+15.7 %	+8.7 %	+39.1 %

主な増減要因

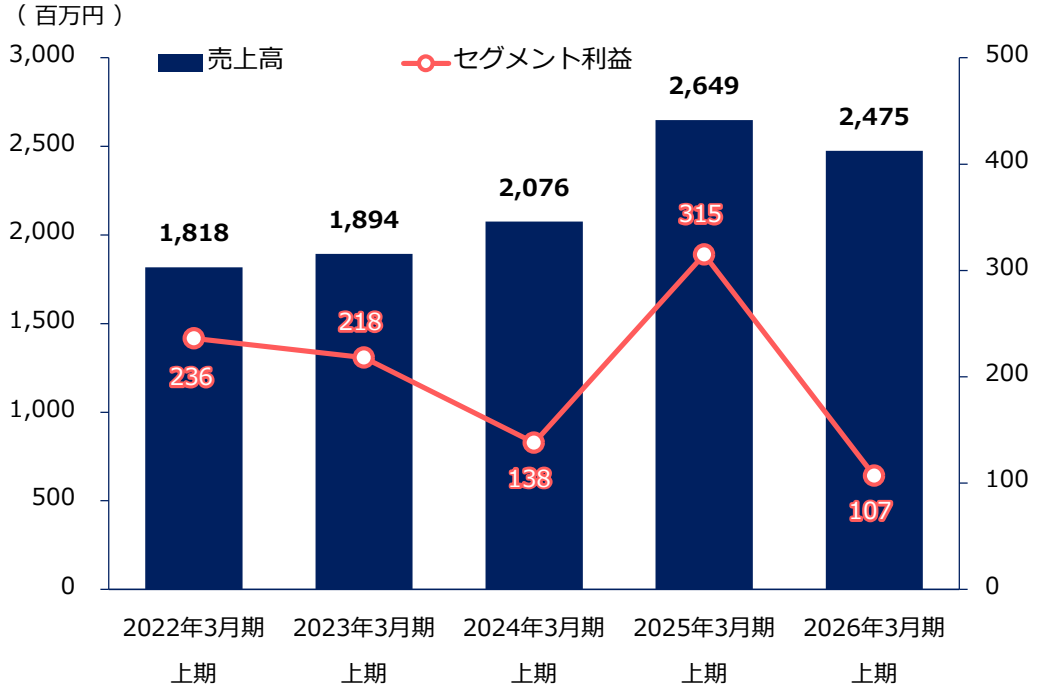
- 自動化ラインは、アルチザンブレッドラインの販売を中心に機械売上が増加
- 食品成形機の売上は増加し、部品および修理の売上高も増加
- 展示会への出展による販管費の増加によりセグメント利益は減少

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　ヨーロッパ《 過去５年（上期）　売上高・セグメント利益 》

- 製パンライン等は小型製パン機の販売が好調を維持しており、下期計画分の受注をほぼ確保できている状況。
- 大型製パンライン等の下期納入案件が増加する見込みであり、通期計画は達成する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年同期増減率	+4.2 %	+9.6 %	+27.6 %	-6.6 %

主な増減要因

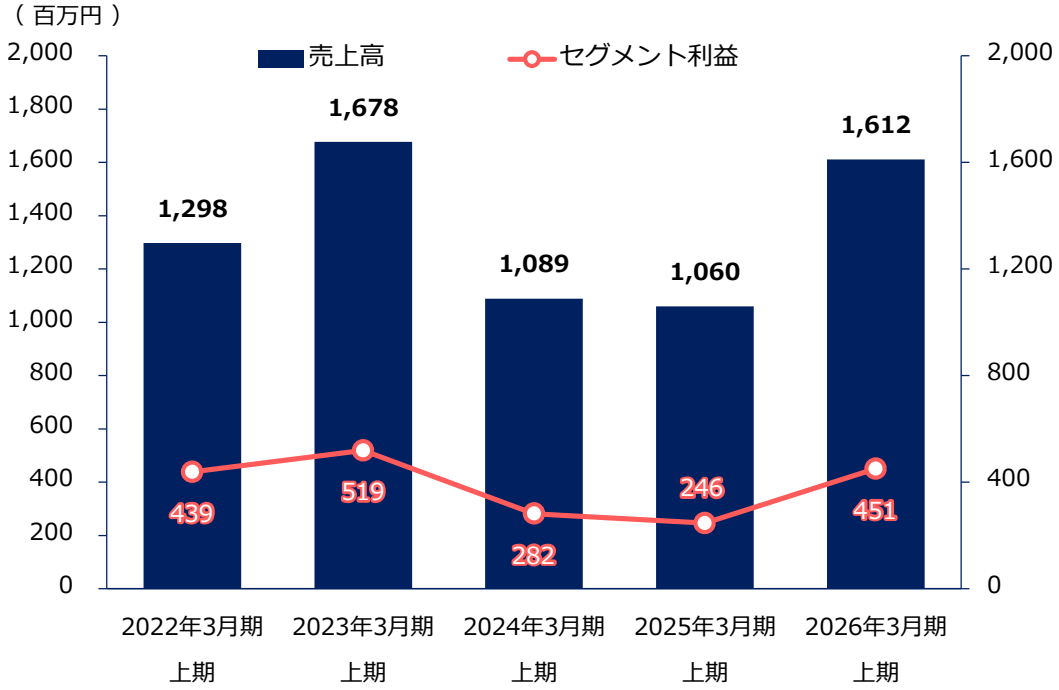
- 自動化ラインは、主力製品である小型製パン機の販売が好調に推移したが、大型製パンライン等の販売が減少
- 単体機は、菓子・調理製品・健康食品など幅広い市場に向け販売が回復したが、売上高は減少
- 粗利の減少と広告宣伝費の増加により、セグメント利益は減少

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品加工機械製造販売事業　アジア《 過去５年（上期）　売上高・セグメント利益 》

- 大型製パンライン等、食品成形機の大口案件確保等により大幅増収となった。
- 下期納入案件は上期比で増加する予定であり、通期計画を達成する見込み。

売上高･セグメント利益



売上高 対前年同期増減率	+29.3 %	-35.1 %	-2.6 %	+52.0 %

主な増減要因

- 自動化ラインは、韓国や台湾、ベトナム向けに製パンライン等の販売が好調
- 包あん機などの単体機は、中国での販売は回復傾向にあり、台湾やインド、東南アジア向けの販売が好調に推移し、売上高が増加
- 修理その他の部品販売は減少

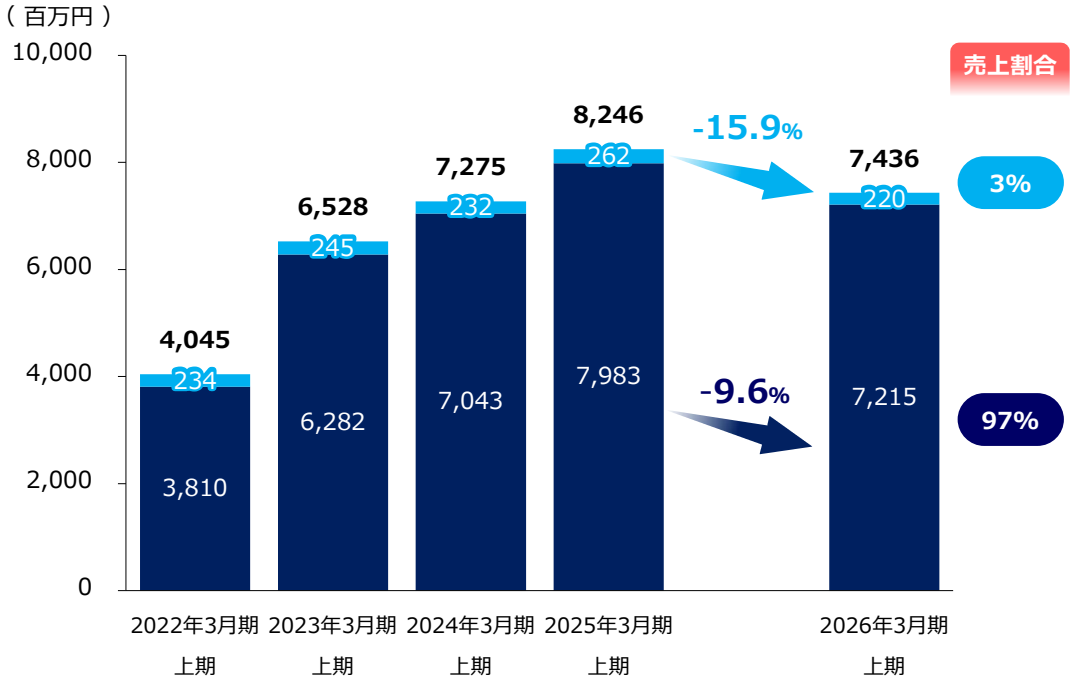
© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 食品製造販売事業　《 地域別売上高・セグメント利益 》（上期）

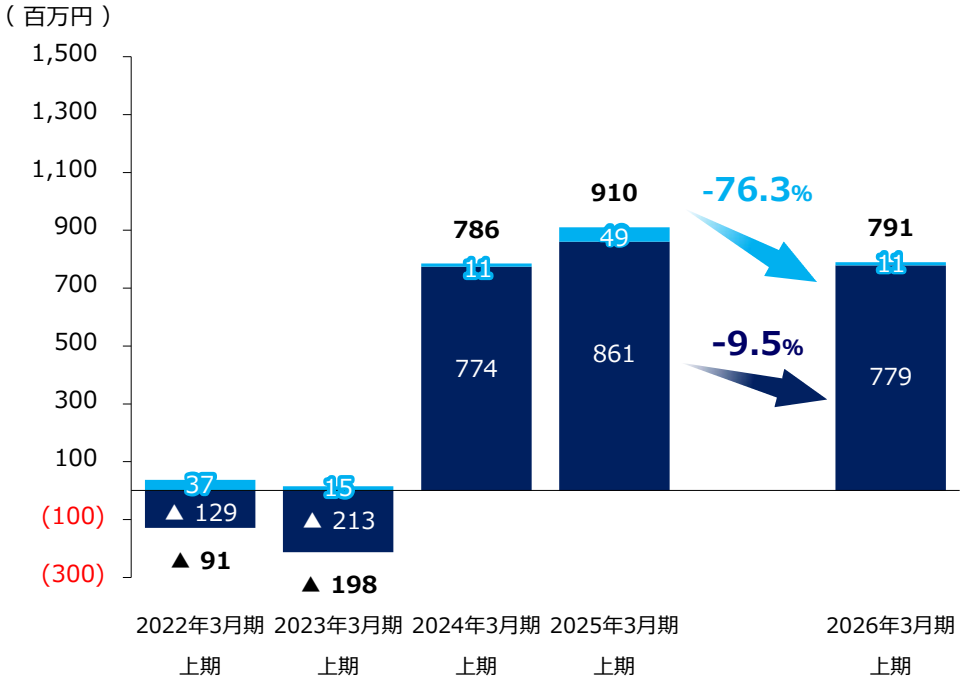
売　上　高	● 北米・南米	円高進行により大幅減収となったが、現地通貨ベースでは▲5.5%の減収。
	● 日本	販売先の需要低迷により減収。
セグメント利益	● 北米・南米	営業利益率は10.7%と前期同等。
	● 日本	売上高の大幅減収により利益水準も大幅に低下。

■ 北米・南米（オレンジベーカリー）　■ 日本（ホシノ天然酵母パン種）

売上高



セグメント利益



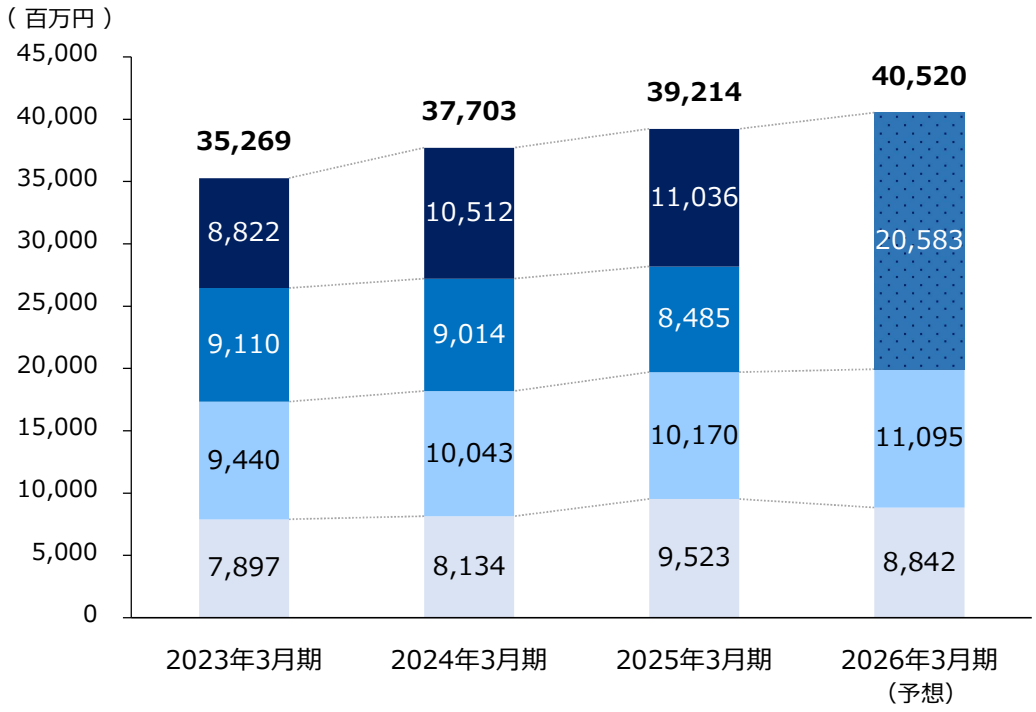
© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆四半期毎の売上高・営業利益推移

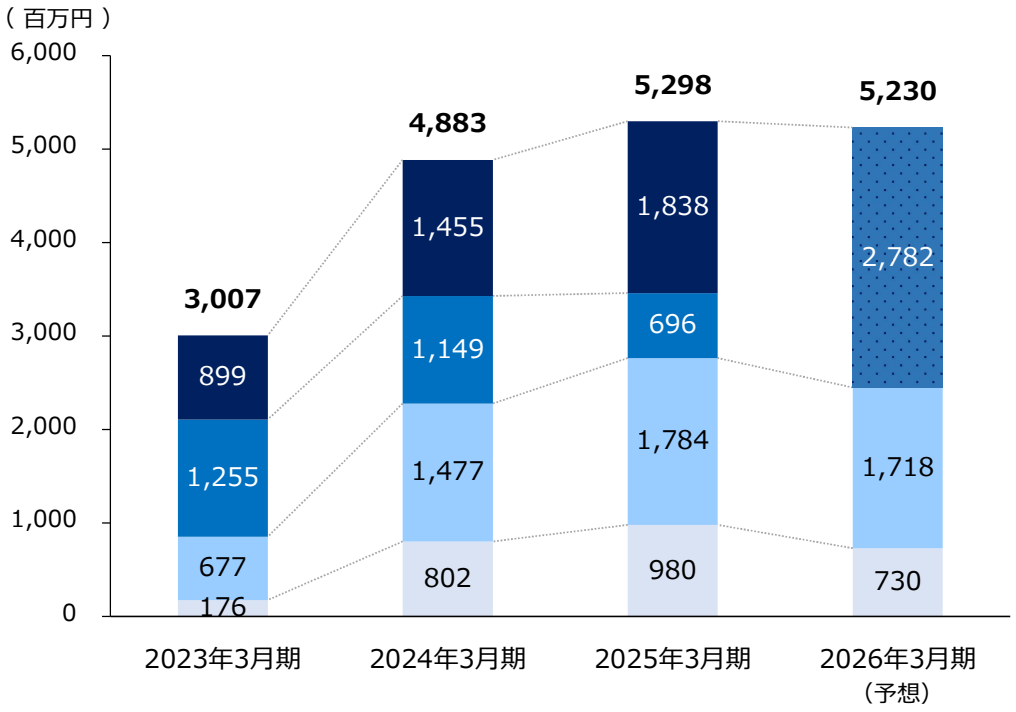
- 2Q（7月－9月）売上高は製パンライン等の販売が好調であり前期比9.1%増加、下期の受注もほぼ確保できている状況。
- 下期の売上高予想が上期を上回る見込みであり、下期の営業利益も上期比増益となる見込み。

1Q　2Q　3Q　4Q　下期予想

売上高



営業利益



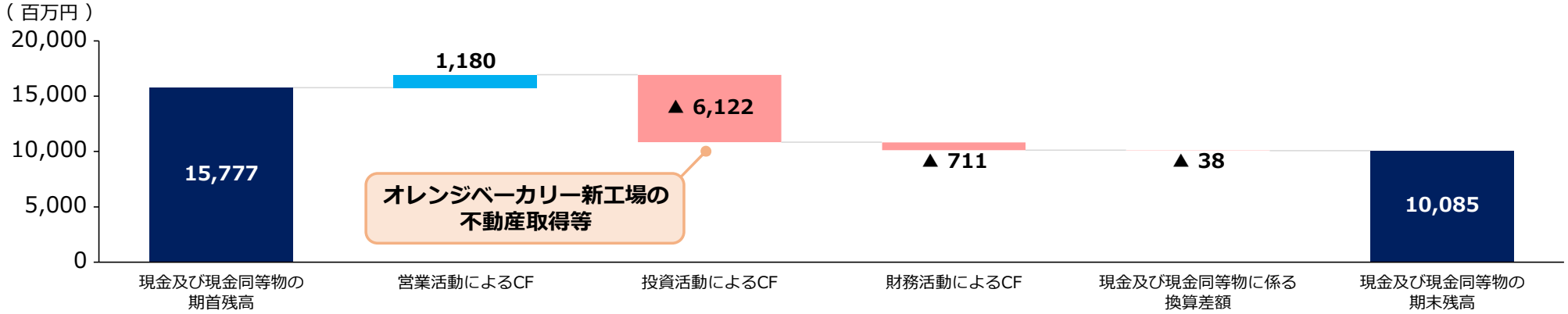
© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 連結貸借対照表サマリー（上期）

（百万円）	2025年3月期（2025年3月31日）		2026年3月期上期（2025年9月30日）				
	金額	構成比（%）	金額	構成比（%）	増減額	増減率（%）	主な増減要因
資産合計	49,242	100 %	50,078	100 %	836	1.7 %	–
流動資産	29,073	59.0 %	24,033	48.0 %	▲5,040	▲17.3 %	● 現金及び預金の減少 （オレンジベーカリー新工場）
固定資産	20,168	41.0 %	26,044	52.0 %	5,876	29.1 %	● 有形固定資産の増加 （オレンジベーカリー新工場）
負債合計	10,527	21.4 %	10,056	20.1 %	▲471	▲4.5 %	–
流動負債	8,867	18.0 %	8,495	17.0 %	▲372	▲4.2 %	● 未払い法人税等の減少 ● 前受金の減少
固定負債	1,660	3.4 %	1,561	3.1 %	▲99	▲6.0 %	● 長期借入金の減少 ● リース債務の減少
純資産合計	38,715	78.6 %	40,021	79.9 %	1,306	3.4 %	● 利益剰余金の増加 ● 為替換算調整勘定の増加
負債純資産合計	49,242	100 %	50,078	100 %	836	1.7 %	–

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 連結キャッシュ・フローサマリー（上期）



（百万円）	2025年3月期上期	2026年3月期上期	主な増減要因
現金及び現金同等物の期首残高	13,591	15,777	–
営業活動によるCF	1,824	1,180	● 税金等調整前中間純利益 2,556 ● 減価償却費 771 ● 法人税等の支払額 ▲1,118
投資活動によるCF	▲928	▲6,122	● 有形固定資産の取得 ▲5,865 ● 無形固定資産の取得 ▲254
財務活動によるCF	▲662	▲711	● 長期借入金の返済 ▲170 ● 配当金の支払額 ▲618
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲334	▲38	–
現金及び現金同等物の増減額	▲101	▲5,692	–
現金及び現金同等物の期末残高	13,490	10,085	–

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 目　次

1.　2026年3月期 上期連結決算概況

2.　2026年3月期 通期連結業績予想

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 2026年3月期　通期連結業績予想

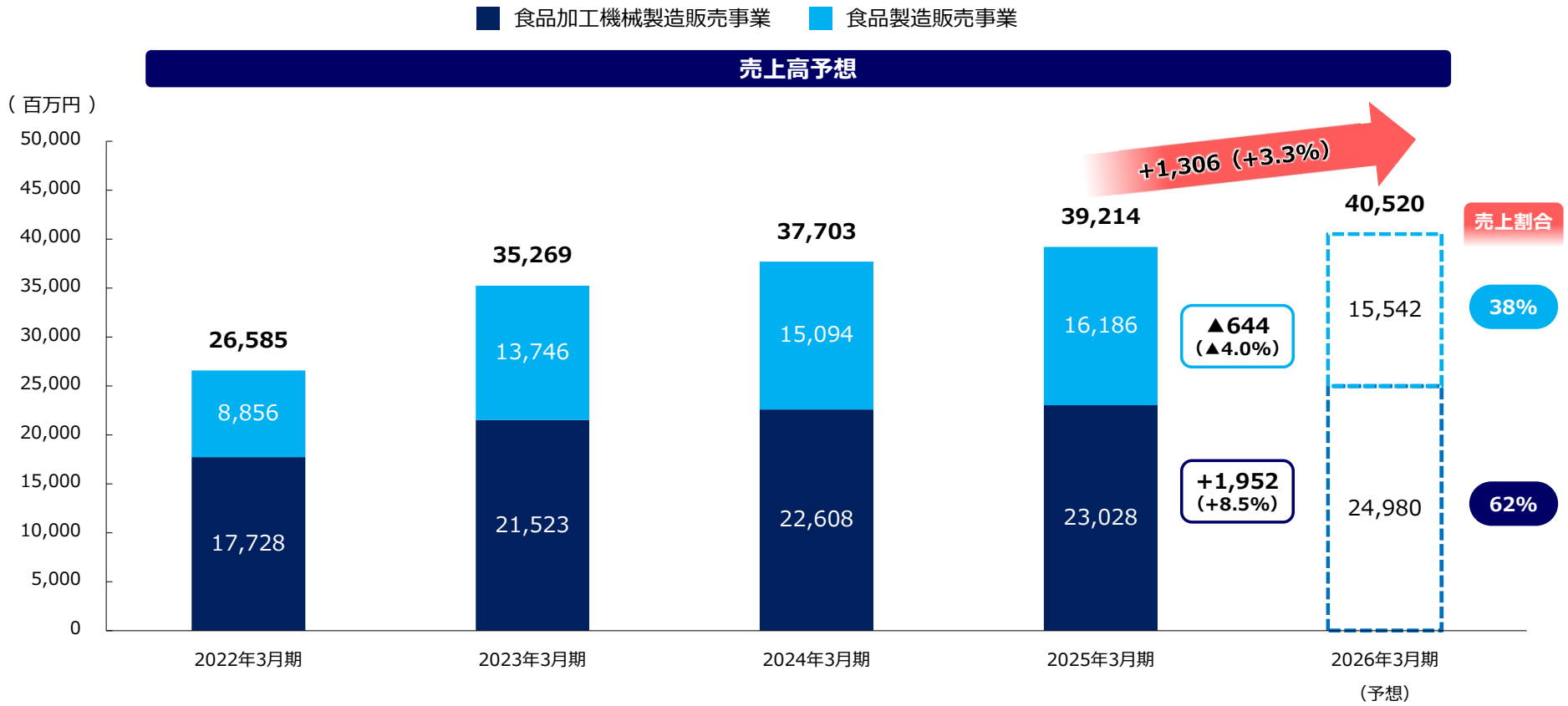
● 上期業績を踏まえ、通期業績予想を上方修正。

（百万円）	2025年3月期実績	2026年3月期予想 （2025年11月12日）	増減額	増減率（%）
売上高	39,214	40,520	1,306	3.3 %
売上原価	21,420	22,530	1,110	5.2 %
販管費	12,495	12,760	265	2.1 %
営業利益	5,298	5,230	▲68	▲1.3 %
経常利益	5,415	5,320	▲95	▲1.8 %
親会社株主に帰属する当期純利益	3,889	3,600	▲289	▲7.4 %
期中平均為替レート	USドル＝152.58円 ユーロ＝ 163.75円	－	－	－
想定為替レート	－	USドル＝146.00円 ユーロ＝ 168.00円	－	－

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 業績予想　食品加工機械製造販売事業・食品製造販売事業　《 事業別売上高 》

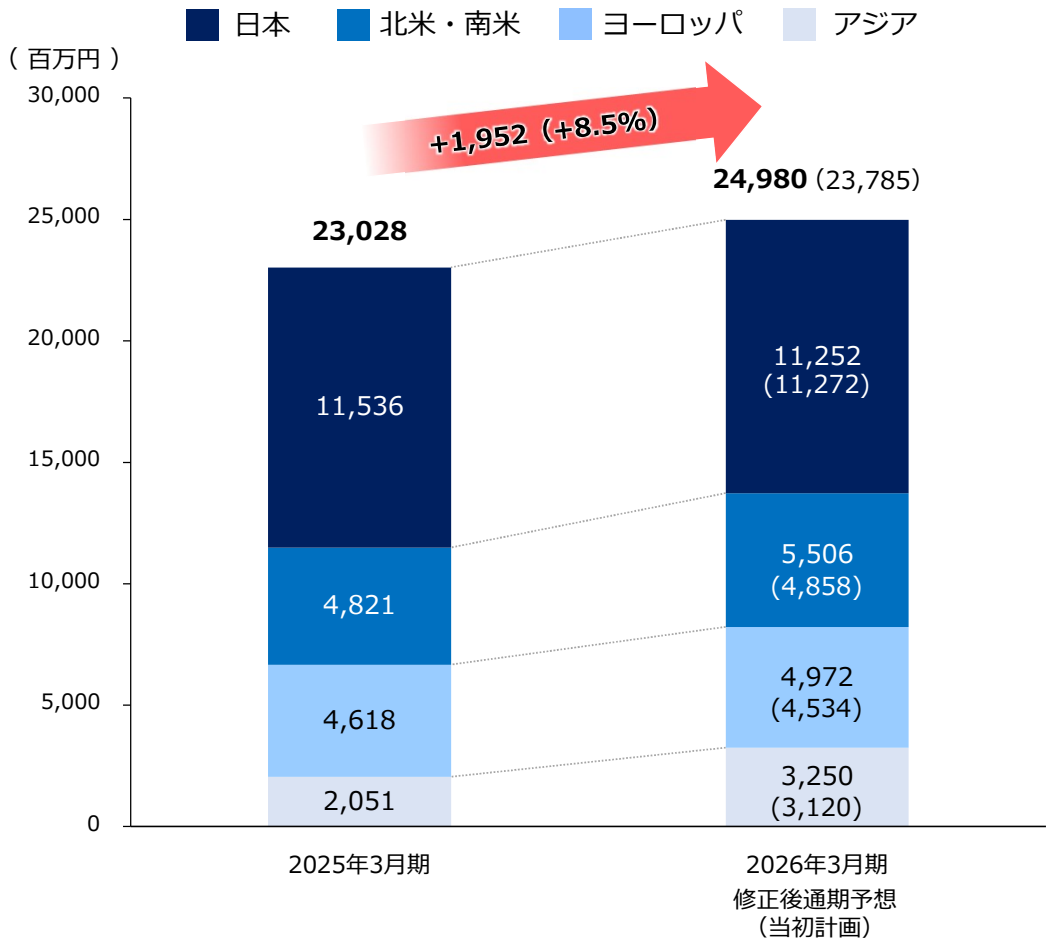
食品加工機械製造販売事業	**人件費高騰に対応した自動化の設備投資需要継続により、売上高が増加すると予測。**
食 品 製 造 販 売 事 業	**米国のパン市場動向の変化により、円ベースでは売上高が減少すると予測。**



© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想

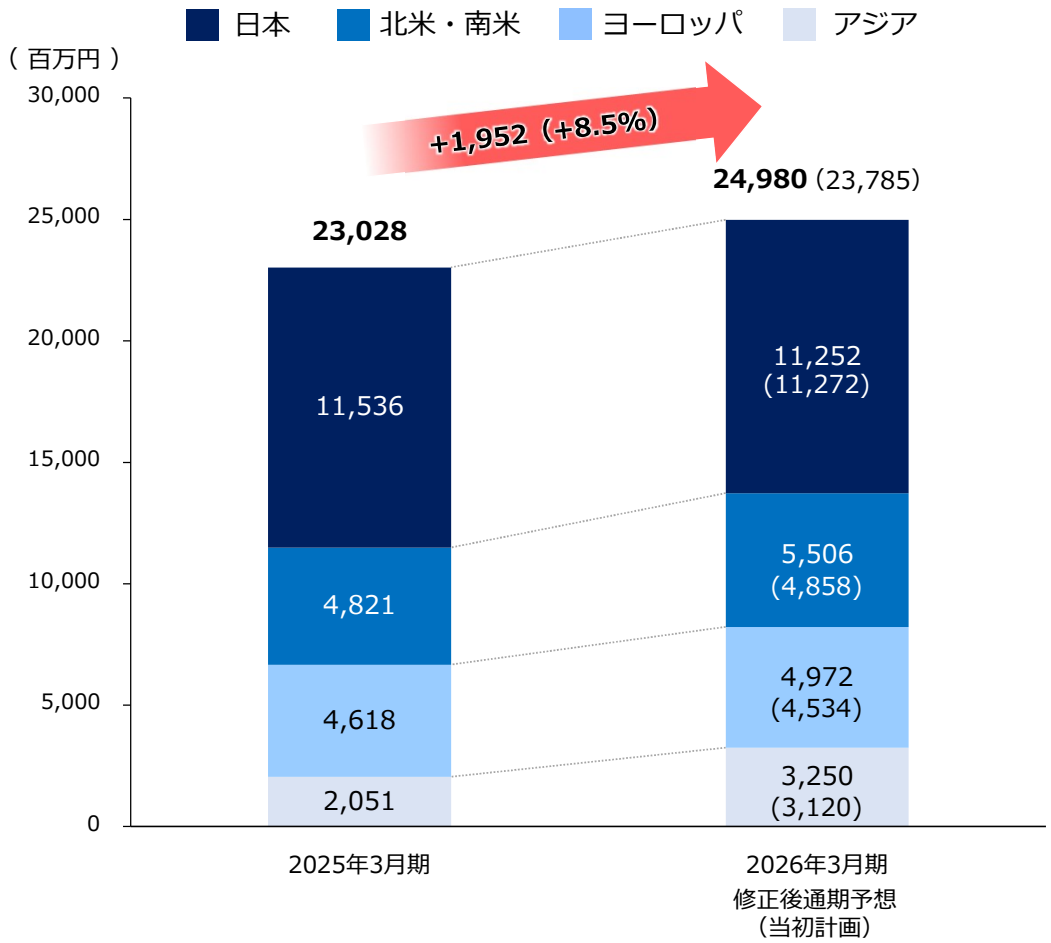


日本	● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 製パンライン等の下期納入案件が増加しており、通期計画達成を見込む ● 食品成形機案件は「中小企業省力化投資補助金」を活用した回復を見込む
北米・南米	● 製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会（IBIE)での見込客へのアプローチを強化 ● 人件費高騰や生産コスト削減に向けた設備投資需要は継続しており、来期受注案件を確保する
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーの販売が堅調であり、ドイツ以外の地域での販売強化を継続 ● 食品成形機では調理向け案件が増加し、修理その他の売上も計画通りに推移しており、通期計画達成を見込む
アジア	● 中国では下期に大型案件の売上を予定、また、食品成形機の販売も改善してきており、売上高は前期を大幅に上回る見込み ● 韓国・台湾・ベトナムに大型製パンライン等の受注があり、好調を維持 ● 東南アジアでは包あん機の大口案件を受注するなど好調を維持 ● インドマーケットでは、包あん機や製パンライン等の受注が増加し、売上高は前期を上回る見込み

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想

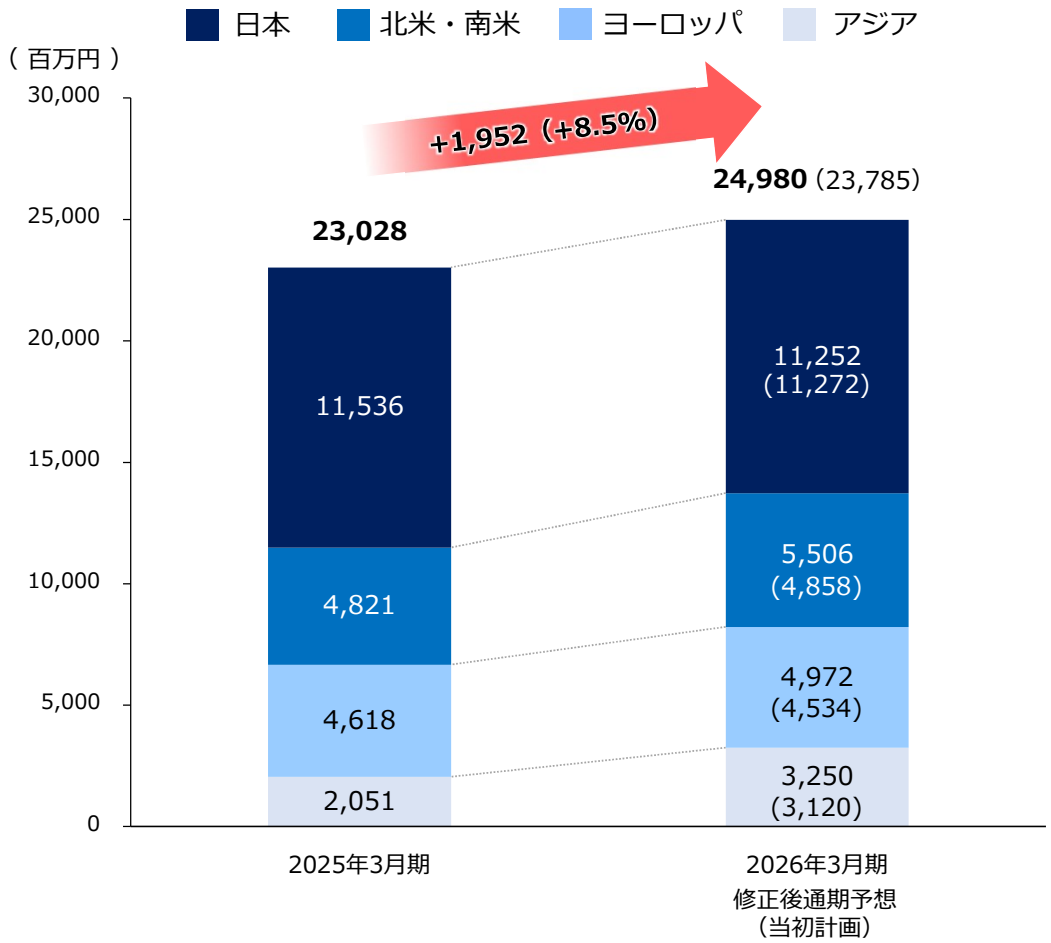


日本	● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 製パンライン等の下期納入案件が増加しており、通期計画達成を見込む ● 食品成形機案件は「中小企業省力化投資補助金」を活用した回復を見込む
北米・南米	● 製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会（IBIE)での見込客へのアプローチを強化 ● 人件費高騰や生産コスト削減に向けた設備投資需要は継続しており、来期受注案件を確保する
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーの販売が堅調であり、ドイツ以外の地域での販売強化を継続 ● 食品成形機では調理向け案件が増加し、修理その他の売上も計画通りに推移しており、通期計画達成を見込む
アジア	● 中国では下期に大型案件の売上を予定、また、食品成形機の販売も改善してきており、売上高は前期を大幅に上回る見込み ● 韓国・台湾・ベトナムに大型製パンライン等の受注があり、好調を維持 ● 東南アジアでは包あん機の大口案件を受注するなど好調を維持 ● インドマーケットでは、包あん機や製パンライン等の受注が増加し、売上高は前期を上回る見込み

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想

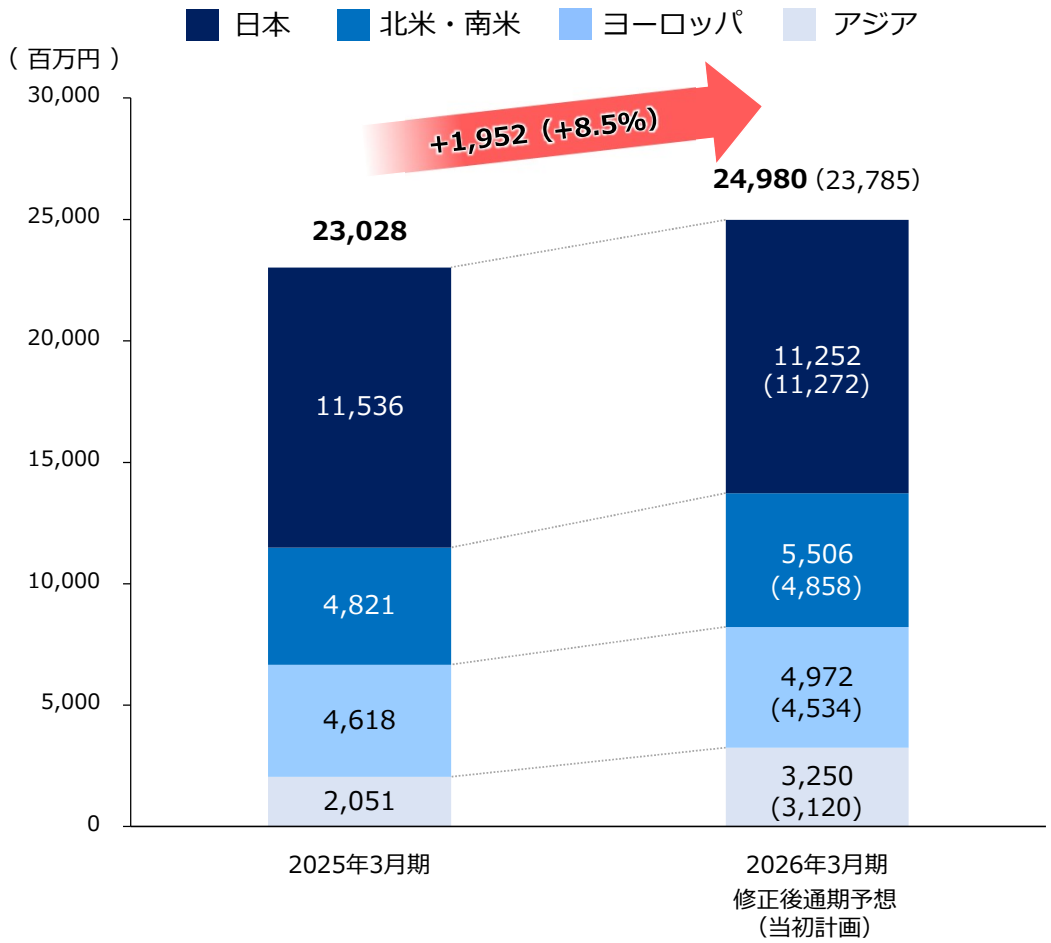


日本	● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 製パンライン等の下期納入案件が増加しており、通期計画達成を見込む ● 食品成形機案件は「中小企業省力化投資補助金」を活用した回復を見込む
北米・南米	● 製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会（IBIE)での見込客へのアプローチを強化 ● 人件費高騰や生産コスト削減に向けた設備投資需要は継続しており、来期受注案件を確保する
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーの販売が堅調であり、ドイツ以外の地域での販売強化を継続 ● 食品成形機では調理向け案件が増加し、修理その他の売上も計画通りに推移しており、通期計画達成を見込む
アジア	● 中国では下期に大型案件の売上を予定、また、食品成形機の販売も改善してきており、売上高は前期を大幅に上回る見込み ● 韓国・台湾・ベトナムに大型製パンライン等の受注があり、好調を維持 ● 東南アジアでは包あん機の大口案件を受注するなど好調を維持 ● インドマーケットでは、包あん機や製パンライン等の受注が増加し、売上高は前期を上回る見込み

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想

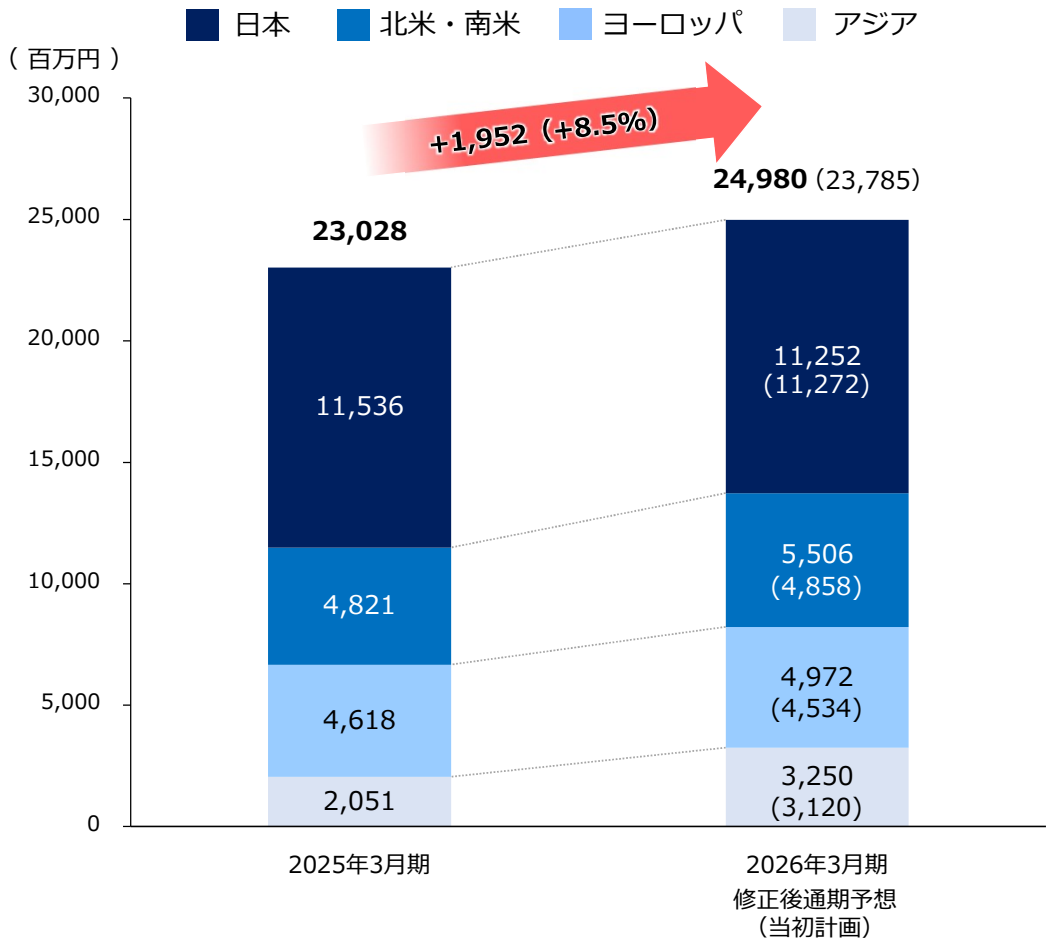


日本	● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 製パンライン等の下期納入案件が増加しており、通期計画達成を見込む ● 食品成形機案件は「中小企業省力化投資補助金」を活用した回復を見込む
北米・南米	● 製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会（IBIE)での見込客へのアプローチを強化 ● 人件費高騰や生産コスト削減に向けた設備投資需要は継続しており、来期受注案件を確保する
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーの販売が堅調であり、ドイツ以外の地域での販売強化を継続 ● 食品成形機では調理向け案件が増加し、修理その他の売上も計画通りに推移しており、通期計画達成を見込む
アジア	● 中国では下期に大型案件の売上を予定、また、食品成形機の販売も改善してきており、売上高は前期を大幅に上回る見込み ● 韓国・台湾・ベトナムに大型製パンライン等の受注があり、好調を維持 ● 東南アジアでは包あん機の大口案件を受注するなど好調を維持 ● インドマーケットでは、包あん機や製パンライン等の受注が増加し、売上高は前期を上回る見込み

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品加工機械製造販売事業

売上高予想

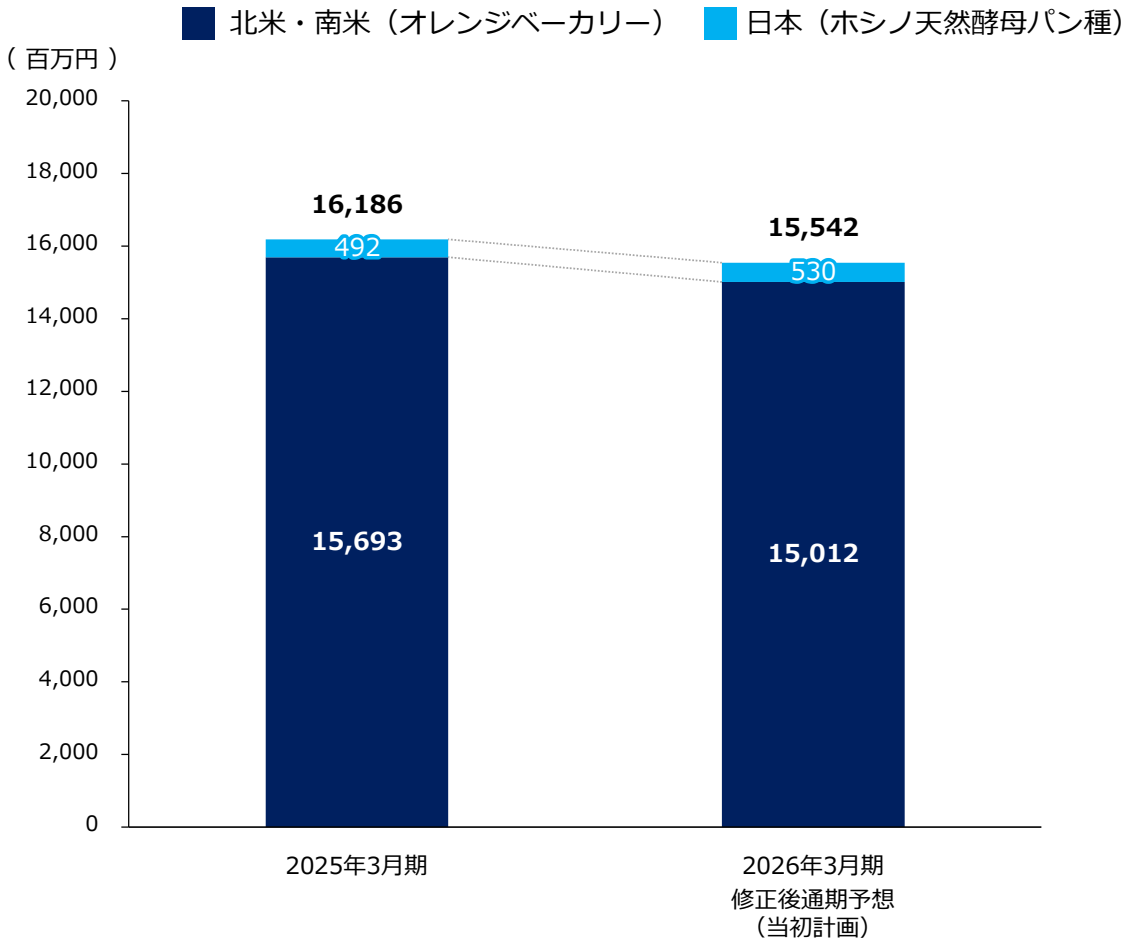


日本	● 大手メーカーからの設備更新需要は堅調に推移するものと予想 ● 製パンライン等の下期納入案件が増加しており、通期計画達成を見込む ● 食品成形機案件は「中小企業省力化投資補助金」を活用した回復を見込む
北米・南米	● 製パンライン等の好調な受注が継続 ● 展示会（IBIE)での見込客へのアプローチを強化 ● 人件費高騰や生産コスト削減に向けた設備投資需要は継続しており、来期受注案件を確保する
ヨーロッパ	● 主力の小型製パン機であるツインデバイダーの販売が堅調であり、ドイツ以外の地域での販売強化を継続 ● 食品成形機では調理向け案件が増加し、修理その他の売上も計画通りに推移しており、通期計画達成を見込む
アジア	● 中国では下期に大型案件の売上を予定、また、食品成形機の販売も改善してきており、売上高は前期を大幅に上回る見込み ● 韓国・台湾・ベトナムに大型製パンライン等の受注があり、好調を維持 ● 東南アジアでは包あん機の大口案件を受注するなど好調を維持 ● インドマーケットでは、包あん機や製パンライン等の受注が増加し、売上高は前期を上回る見込み

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 事業別業績予想　食品製造販売事業

売上高予想



北米・南米（オレンジベーカリー）

- 一部顧客への販売が終了し、上期は減収となった
- 新規顧客を開拓すべく、新商品提案営業を強化し下期での回復を図る

日本（ホシノ天然酵母パン種）

- 各種展示会への出展、大口顧客への接触強化により拡販につなげる
- 製品講習会や見込客向け個別提案会の実施により売上増加を図る

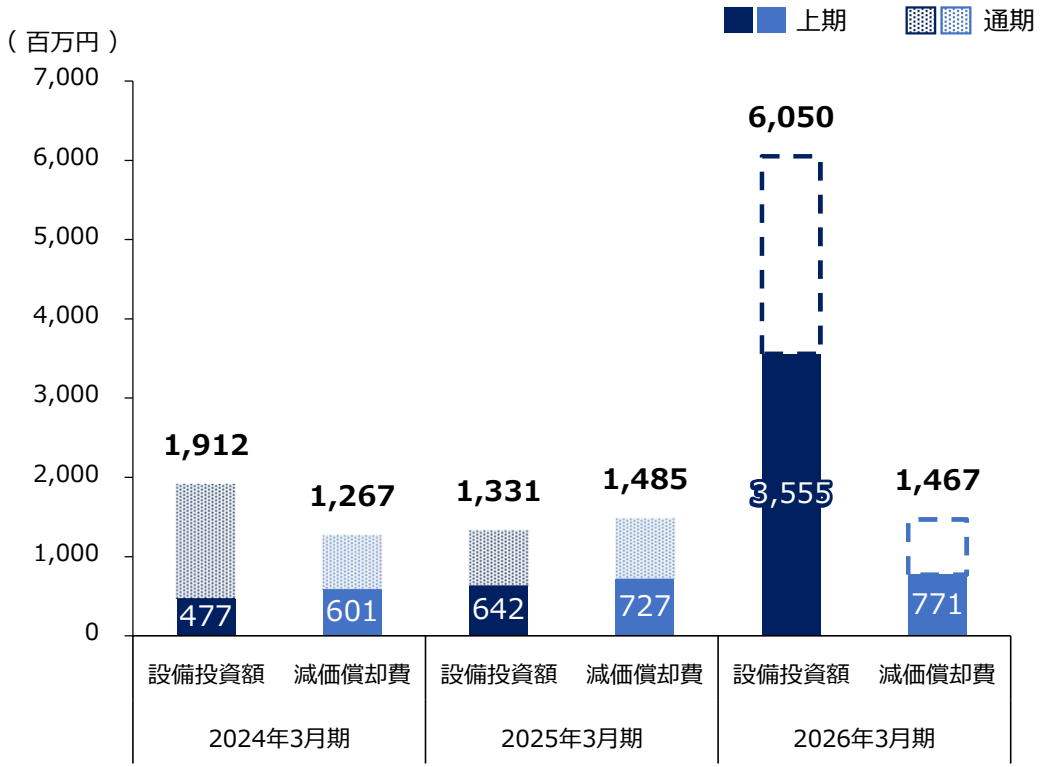
© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 設備投資額・減価償却費・研究開発費

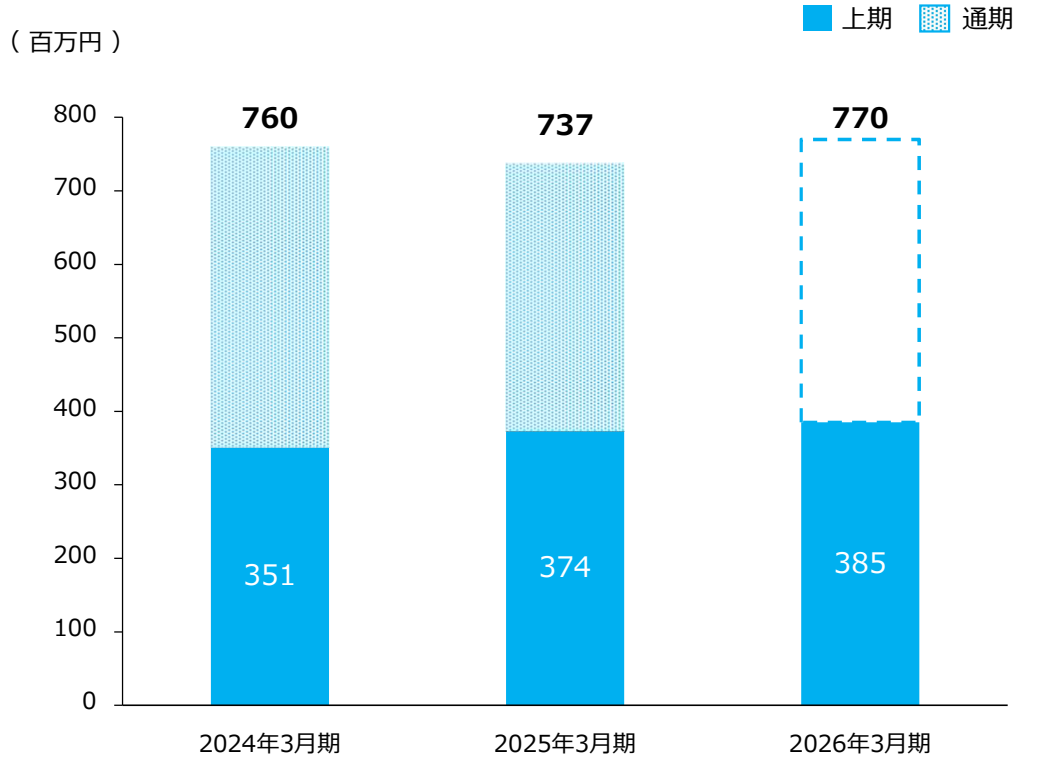
2026年3月期

オレンジベーカリー新工場の土地、建物取得により設備投資額が大幅に増加。
上河内工場ではオートストアの導入やDNCラインなどの工作機械の投資を実施。

設備投資額･減価償却費



研究開発費



© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆オレンジベーカリー新工場の進捗状況

- 2025年7月、カリフォルニア州アーバイン市にあるオレンジベーカリー第1工場隣接の土地、および事務所付き倉庫を取得。

写真① オレンジベーカリー新工場周辺地図

写真② オレンジベーカリー新工場

Orange Bakery

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆オレンジベーカリー新工場の進捗状況

- 製パン販売事業のほか、スマートファクトリーに向けたモデル実験工場の役割を担い、当社の食品加工機械の実証実験を行う。

新工場外観（今後、食品工場に改築予定）

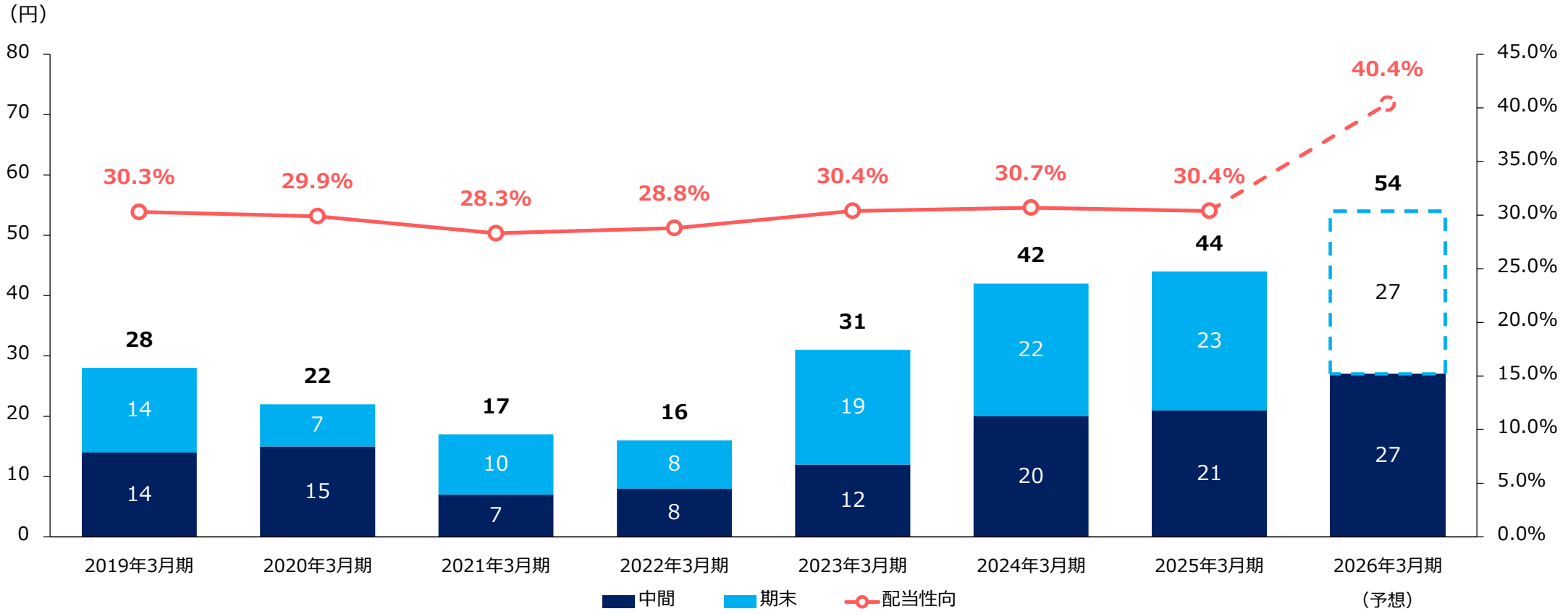
オレンジベーカリー第1工場から見た新工場

Orange Bakery

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ 配当方針

- 当中期経営計画期間中（2026年3月期から2028年3月期）の連結配当性向の目標を40%以上とし、業績等を総合的に勘案し安定的な「累進配当」を行うことを基本方針とする。
- 今回、業績予想の修正に合わせ、配当予想も54円（当初予想比6円増配）に修正した。



© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

◆ レオングループのアイデンティティ

社　是

“ 存在理由のある企業たらん ”

- 自社製品を通じてお客様に満足を提供する
- 世界の食文化に貢献する

「存在理由のある企業たらん」は、

レオングループが創業以来持ち続けている社是です。

これまでも、これからも、存在理由のある企業であり続けることが

レオングループの大切にしていることです。

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.

《 社名の由来 》

レオン自動機の「レオン」は、レオロジー（流動学）に由来します。レオロジーとは、粘性や弾性の流動を解明する科学であり、当社の創業者（故 名誉会長　林虎彦）が、レオロジーを応用し、世界初の包あん機を開発したことから名づけました。

【　免責事項　】

本資料の将来的予測に関する業績・事業計画などは資料作成時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的リスクや不確実性を含んでおります。そのため、実際の業績・財務状況は今後の経済動向・市場の変化など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

© 2025 RHEON Automatic Machinery Co., Ltd.